



令和8年9月2日

## 救急医療週間におけるイベントの実施について

— 9月9日は「救急の日」 —

救急医療週間は、救急医療と救急業務に対する都民の皆様の正しい理解と認識を深めるとともに、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的に、毎年9月9日の救急の日を含む日曜日から土曜日までの1週間に行っています。

東京消防庁では本年も「救急の日」及び「救急医療週間」を中心に、令和8年度東京消防庁救急セミナーをはじめとする行事を以下の推進事項のもとに実施いたします。

### 1 救急の日及び救急医療週間

- (1) 救急の日……令和8年9月9日(水)
- (2) 救急医療週間…令和8年9月6日(日)から9月12日(土)まで

### 2 「第13回地域の応急手当普及功労賞」の決定について

最優秀賞(消防総監賞)2団体(資料1)

- 株式会社東京ドームホテル (文京区・小石川消防署管内)
- 学校法人玉川学園(町田市・町田消防署管内)

### 3 「令和8年度東京消防庁救急セミナー」の実施について

一人でも多くの命を救うためには、バイスタンダー(そばに居合わせた人)による速やかな応急手当が不可欠であることから、今年度はセミナーを開催し、応急手当の必要性と重要性、救急隊との連携要領や応急手当のサポート体制、マイナ保険証を活用した救急隊の情報収集について周知を図ります。

また、応急手当普及員の指導力の向上を図り多くの人に救命技能を身につけてもらうことを目的に、応急手当普及員を対象とした救命講習を実施します。(資料2)

- (1) 日時  
令和8年9月9日(水) 13時00分から17時00分まで
- (2) 場所  
スクワール麹町(千代田区麹町六丁目6番地)

### 4 救急医療週間中の各消防署の主な行事

東京消防庁ホームページ、公式アプリ、SNS等で広報いたします。また、各消防署の行事については、東京消防庁公式アプリでご確認ください。

### 5 推進事項

各項目の詳細については東京消防庁ホームページからご確認いただけます。

([http://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/lfe/kyuu\\_adv/kyuu-week.html](http://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/lfe/kyuu_adv/kyuu-week.html))

### (1) 救急車の適時・適切な利用の促進

令和7年中の救急出場件数は約93万件でした。

119番通報で救急要請を受けると、対応可能な最も近くの救急車が出動しますが、救急要請が増加して近くの救急車が全て出動してしまうと、到着までに時間がかかってしまいます。真に救急車を必要とする方の救命につなげるために、救急車の適時・適切な利用を呼びかけています。

(資料3)

### (2) 東京版救急受診ガイド及び東京消防庁救急相談センターの周知並びに利用促進

東京消防庁では、症状の緊急度を自身で判断できる「東京版救急受診ガイド」と、急な病気やけがで救急車を呼ぶか判断に迷った際に、電話で相談できる「東京消防庁救急相談センター(＃7119)」により、都民の皆様へ安心を提供しています。

東京版救急受診ガイド及び東京消防庁救急相談センター(＃7119)の更なる利用促進に向けて、広報活動を推進していきます。(資料4)

### (3) 応急手当の普及促進

バイスタンダーの応急手当は、救命効果の向上に大きく関わっています。普段から応急手当の方法を覚えていただき、誰もが自信を持って応急手当を実施できるよう、更なる応急手当の普及促進を図ります。(資料5)

また、救命効果の向上を図るため、119番通報の受付対応と並行し、通報者に対する応急手当のアドバイス(口頭指導)を実施しています。(資料6)

#### 問合せ先

|            |              |
|------------|--------------|
| 東京消防庁(代)   | 電話 3212-2111 |
| 救急医務課救急相談係 | 内線 4545~4546 |
| 救急指導課救急普及係 | 内線 4625~4626 |
| 総合指令室管理係   | 内線 3746      |
| 広報課報道係     | 内線 2345~2350 |

## 資料1

# 「第13回地域の応急手当普及功労賞」の決定について

## 1 地域の応急手当普及功労賞について

この賞は、応急手当奨励事業所のうち、地域における応急救護体制づくりに主体的に取り組んでいる事業所等を各消防署から募集し、効果的かつ模範的な取組を表彰するものです。

受賞団体の取組みは、奏功事例として広く紹介し、様々な事業所や団体で参考にさせていただいています。

## 2 最優秀賞(消防総監賞)受賞団体について

### (1) 株式会社東京ドームホテル（小石川消防署管内）

#### 最優秀賞受賞の理由

1. ホテル内で発生した急病人対応のみならず、周辺で発生した救護事案に対しても従業員が24時間対応できるよう、AEDを搬送及び救護しやすい場所に設置している。
2. 令和5年度から委嘱を受けた応急手当普及員が普通救命講習を継続的に自主開催し、ホテルのテナント従業員にも、AEDの応急救護講習を自主的に実施して、ホテル全体で応急救護の普及に努めている。
3. ホテル内で急病人が発生した際の救護マニュアルがあり、対応訓練を毎年実施し三角巾やガーゼ等を備蓄するなど緊急時に備えている。

### (2) 学校法人 玉川学園（町田消防署管内）

#### 最優秀賞受賞の理由

1. 平成12年に玉川学園学生防災ボランティア隊を整備し、町田市が開催する防災フェスタにおいて、令和7年度中は2回にわたり応急救護訓練を支援するなど、市民への防災意識の向上や応急救護の啓発に寄与している。
2. 心肺蘇生法や止血法などの訓練の様子をSNS(インスタグラム)で月に1回以上更新し、活動内容を積極的に発信したことで、フォロワー数は300人以上、応急手当の普及を担う学生防災ボランティアの活動人員も右肩上がりですべて70名に増加した。
3. 学生防災ボランティアが中心となり、同学園内の中学生に対して応急救護訓練を実施している。

## 応急手当奨励制度について

### ● 応急手当奨励制度の目的

突然の病気やけがなどの救急事故現場に居合わせた人々（バイスタンダー）が、救急車到着までの間に応急手当を実施することは大変重要です。特に、さまざまな人が多く集まる事業所や商店街、町会等において、応急救護体制の構築が期待されています。

そこで東京消防庁では、救命効果を高めるための方策の一つとして、応急手当の普及に対する認識を高めていただき、事業所や商店街、町会等が自ら応急救護体制づくりができるよう、救命講習に対する積極的な取組を奨励しています。

### ● 救命講習受講優良証

応急手当の普及に関し、下記の交付要件を満たしている事業所等に対して、消防署長が救命講習受講優良証、優良マークを交付します。

#### 交付要件

- ① 事業所や商店街、地域等で、救命講習の普及を推進する人（応急手当普及員など）が養成され、救命講習の普及に活用されていること。
- ② 交付対象毎に、総数（従業員数等）の30%以上が、有効期限内にある救命講習修了者であること。

#### 優良証交付事業所等の公表及び優良マークの交付



救命講習受講優良証



優良マーク

#### 【優良マークの活用】

- ・掲示は事業所の任意とします。
- ・直径200mm以内の加工が可能です。
- ※形態や色の加工はできません。

#### 【加工例】

##### 名刺

株式会社消防観光



安心安全な事業所

営業部長 東 消 太 郎  
東京都千代田区大手町1-3-5  
Tel.03-XXXX-5678  
E-mail tosho@sho-bo-kannko



令和8年8月1日現在、1,356の事業所等に対して交付しています。

主な事業所等は下表のとおりです。



事業所、駅舎、バス・タクシー会社、商店街、デパート、スーパーマーケット、町会・自治会、公衆浴場、旅館、ホテル、ガソリンスタンド、学校、幼稚園、保育園、劇場、映画館、スポーツ施設、遊園地、銀行、信用金庫、郵便局、区役所・市役所 など

応急手当奨励制度に関することや交付手続きなど、ご不明な点がございましたら  
東京消防庁管内の各消防署へお問合せください。

## 資料2

# 「令和8年度東京消防庁救急セミナー」の実施について

東京消防庁では、令和8年 9 月 9 日(水)にスクワール麹町において東京消防庁救急セミナーを実施します。

## 1 東京消防庁救急セミナーについて

一人でも多くの命を救うためには、バイスタンダーによる速やかな応急手当が不可欠です。このため、本年度は、応急手当の必要性を訴えることを目的とした救急セミナーを実施します。セミナーの中では、実際にあった心肺停止事案の再現動画の放映や当庁職員による救急現場での救急隊との連携要領の実演、都内の応急手当普及員を対象に救命講習（応急手当普及員再講習）を実施します。参加者の応急手当に対する意識の高揚や応急手当の重要性を改めて感じてもらうことで、応急手当指導力の向上と継続した資格の保有を促進し、応急手当普及員等による救命講習の自主開催につなげることを目的とします。

## 2 日時

令和8年9月9日(水) 13時00分から17時00分まで

## 3 場所

スクワール麹町(千代田区麹町六丁目6番地)

## 4 プログラム(予定)

|         | 時間                  | プログラム・内容                                                                                                                          |
|---------|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1部     | 【13時00分<br>～13時40分】 | 応急手当の必要性と重要性(講義)<br>東京消防庁管内における救急の現況を共有し、バイスタンダーによる応急手当の必要性を教養します。救急現場でのバイスタンダーの体験を動画として放映するとともに、動画に協力いただいたバイスタンダーへの感謝状贈呈式を実施します。 |
| 第2部     | 【13時40分<br>～14時15分】 | 救急現場での応急手当と救急隊との連携要領(実演)<br>会場に救急現場を再現し、映像による口頭指導を活用した傷病者への応急手当と救急隊との連携要領を当庁職員が実演します。実演の後に Live119やマイナ保険証を活用した救急活動等に関する教養を実施します。  |
| 休憩・会場準備 |                     |                                                                                                                                   |
| 第3部     | 【14時30分<br>～17時00分】 | 応急手当普及員再講習                                                                                                                        |

## 5 取材について

- (1) 取材を希望される方は、12時30分までにスクワール麹町 3階受付にお越しください。
- (2) 取材を希望される場合は、令和8年9月8日(火)13時00分までに広報課報道係(代表電話:03-3212-2111)までご連絡ください。
- (3) 取材時は、必ず自社腕章を着用してください。
- (4) 会場には駐車場がありませんので、予めご了承ください。

### 資料3

## 救急車の適時・適切な利用の促進

令和7年中の救急出場件数は約93万件でした。

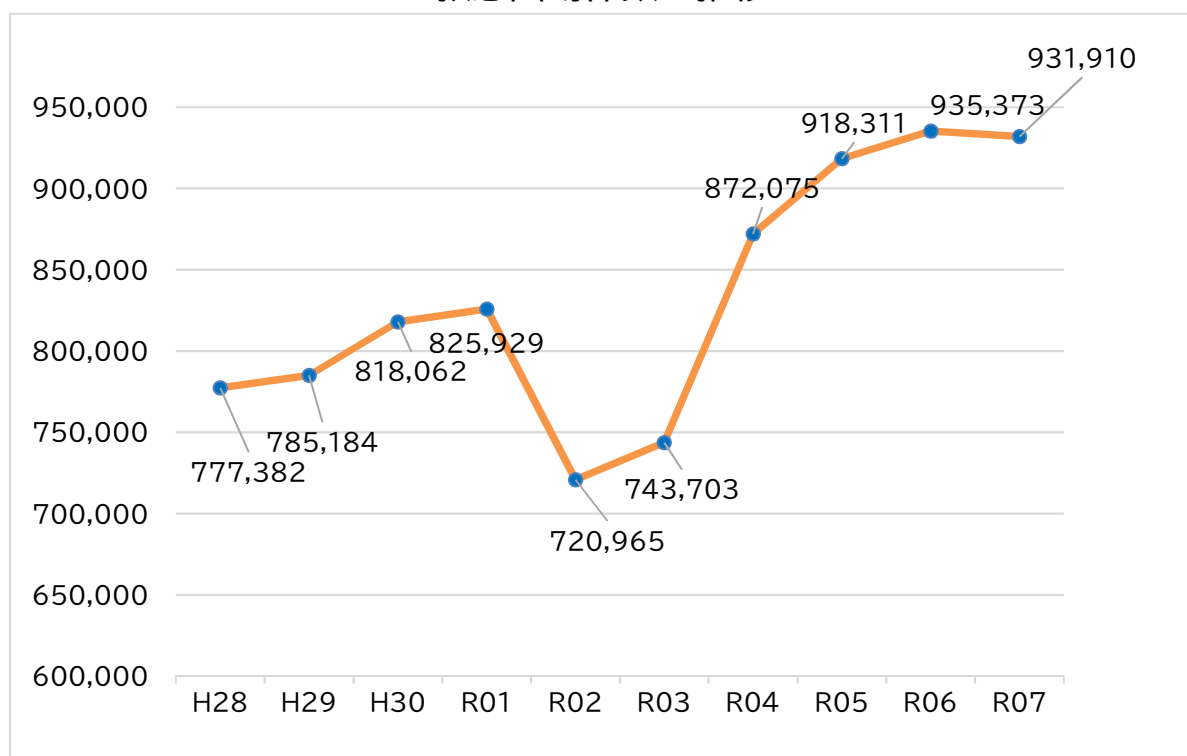
東京消防庁で実施した令和7年の消防に関する世論調査では、救急車を呼んだ理由として、「生命の危険があると思った」など正しい理解があった反面、「どこの病院へ行っていいかわからなかった」「救急車でいくと優先的に診てもらえると思った」「交通手段がなかった」といった、緊急性のない理由も見受けられました。

救急車で搬送された方のうち、入院を必要としない軽症者の割合は50%以上を占めており（令和7年中は、51.8%）、この割合は、近年においてほぼ横ばいで推移しています。

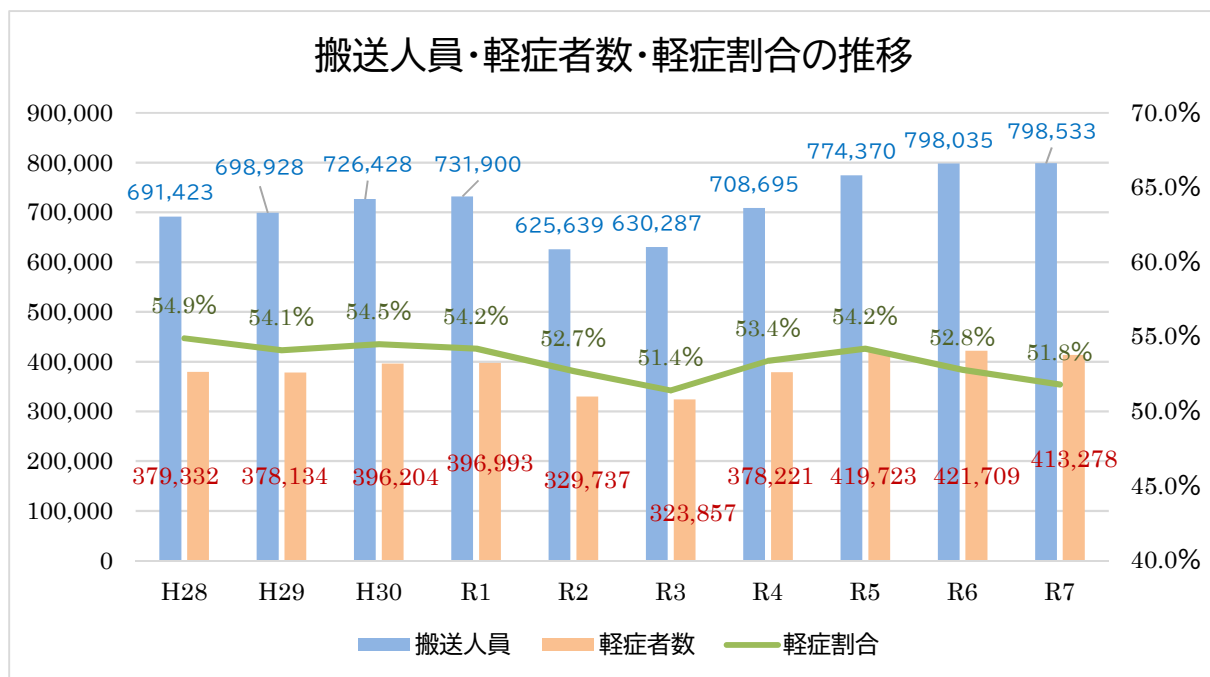
東京消防庁では、119番通報で救急車の要請を受けると、対応可能な最も近くの救急車を出動させていますが、緊急性のない理由での救急要請が増えて近くの救急車が全て出動してしまうと、遠くの救急車が出動することになり、到着まで時間がかかってしまいます。

救急車の到着が遅れると、真に救急車を必要としている生命の危機が迫っている人を病院に搬送する時間が遅くなり、命が助かる可能性が低下してしまうため、真に救急車を必要とする方のために、救急車の適時・適切な利用を呼びかけていきます。

救急出場件数の推移



令和7年中の救急出動件数は、931,910件で過去最多を記録した令和6年から若干減少しましたが依然として救急出場はひっ迫した状態が続いています。



救急搬送人員に占める軽症者の割合は50%台で横ばいの状態です

## 資料4

### 東京版救急受診ガイド及び 東京消防庁救急相談センターの周知並びに利用促進

東京消防庁では、症状の緊急度を自身で判断できる東京版救急受診ガイド(以下「救急受診ガイド」という。)をWebと冊子により提供しており、都民の皆様に安心を提供するツールとしてご利用いただいております。

また、「#7119」東京消防庁救急相談センター(以下「救急相談センター」という。)は、急な病気やけがで判断に迷った際の電話相談窓口として平成19年6月から運用を開始し、相談医療チーム(医師、看護師、救急隊経験者等)が、24時間・365日対応しています。

令和7年では、救急相談センターの開設以来最多の約50万件の電話を受付け、約36万件の救急相談※<sup>1</sup>及び約14万件の医療機関案内※<sup>2</sup>を行うなど、都民の皆様に安心を提供しています。

今後、救急受診ガイド及び救急相談センターの更なる利用促進を図るため、あらゆる機会を通じた広報活動を推進していきます。

※1 救急相談:相談者の症状から、救急車で病院へ行くべきか、いつまでに受診すべきか、何科を受診すべきかなどの緊急度等について判断しアドバイスを行っています。

※2 医療機関案内:救急医療機関等からの情報に基づき、その時点で診察可能となっている病院をご案内しています。

《病院へ行く？ 救急車を呼ぶ？ 迷ったら…「#7119」》



## 東京版救急受診ガイド

急な病気やけがをした際に、「今すぐ病院に行くべきか」「救急車を呼ぶべきか」迷った時に自ら緊急性の判断ができる「東京版救急受診ガイド」は東京消防庁ホームページのWeb サイトから、パソコン、スマートフォンにより利用することができます。

59の症状について、現在の症状を音声やテキストで入力することで、病気やけがの緊急性の有無、受診の必要性、時期、科目のアドバイスを得られるサービスです。

また、外国の方が症状の緊急度を自ら判断できるように「英語版・Web 版」を同内容で作成しています。

なお、インターネット環境を持たない都民の方へは冊子版も提供しています。冊子版は20の症状に対応しています。各消防署で配付していますので、ご利用ください。

### 東京版 救急受診ガイドの利用方法・サービス内容

スマートフォンやパソコンから  
東京消防庁ホームページにアクセスして  
『東京版救急受診ガイド』をご利用ください。

<3つのアドバイスを提供>

- 病気やけがの緊急性
- 受診する時期
- 受診する科目

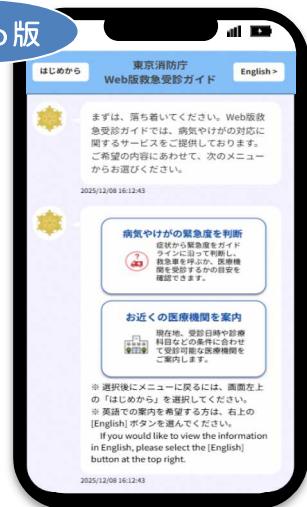
※受診可能な  
病院検索もできます。



Web版でも冊子版でも、病気やけがの緊急性などに関するアドバイスを確認できます。

**赤** 救急車を要請(今すぐ119番へ)  
**橙** 今すぐに受診(1時間以内に病院へ)  
**黄** これから受診(6～8時間以内に病院へ)  
**緑** 明日には受診(24時間以内に病院へ)

#### Web版



#### 冊子版



緊急性がある場合は、ためらわず救急車(119番)をお呼びください。

# 「#7119」東京消防庁救急相談センター



東京消防庁救急相談センターの受付状況(過去5年間)

| 期間(年中) | 受付総件数   | 救急相談センター |         |        | 中等症以上  |
|--------|---------|----------|---------|--------|--------|
|        |         | 医療機関案内   | 救急相談    | 救急要請   |        |
| 令和3年   | 362,392 | 124,228  | 236,757 | 38,755 | 13,606 |
|        | 993/日   | 340/日    | 649/日   | 106/日  | 37/日   |
| 令和4年   | 439,507 | 175,822  | 262,036 | 42,674 | 14,137 |
|        | 1,204/日 | 481/日    | 717/日   | 116/日  | 38/日   |
| 令和5年   | 467,267 | 161,460  | 303,102 | 54,201 | 18,634 |
|        | 1,280/日 | 442/日    | 830/日   | 148/日  | 53/日   |
| 令和6年   | 485,432 | 148,230  | 330,640 | 63,633 | 22,789 |
|        | 1,326/日 | 405/日    | 903/日   | 174/日  | 62/日   |
| 令和7年   | 503,479 | 139,402  | 356,348 | 67,033 | 25,142 |
|        | 1,379/日 | 382/日    | 976/日   | 184/日  | 69/日   |

令和8年度広報用ポスター

救急車の適時・適切な利用のお願い

# 病院？ 救急車？



迷ったら…



ネットで判断

さらに使いやすくリニューアル！

## 東京版救急受診ガイド

緊急度の判定から医療機関案内までワンストップでスムーズに



救急受診  
ガイドは  
こちら



症状から  
AIを介して  
緊急度を判定

受診可能な  
医療機関を  
案内

GPSで  
医療機関までの  
ルートを案内

電話で相談

- ▶ 症状に基づく緊急性有無のアドバイス
- ▶ 受診の必要性に関するアドバイス
- ▶ 医療機関案内

東京消防庁救急相談センターでは、相談医チーム（医師、看護師、救急隊経験者等の職員）が24時間365日対応しています。

東京消防庁救急相談センター

# #7119

こちらからもつながります 03-3212-2323

※ご利用には通常の通話料がかかります。

救急車 適切利用で 救える命 作者 堤 莉菜さん、白鳥 弘彦さん

## 東京消防庁

東京都医師会 東京都保健医療局

救急受診ガイドにいつでもアクセスできる「東京消防庁公式アプリ」をダウンロードしよう

#7119



東京消防

検索

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>

公式アプリ



リサイクルマーク  
このマークは、環境にやさしい  
リサイクルマークです。

12120-080705

応急手当の普及促進

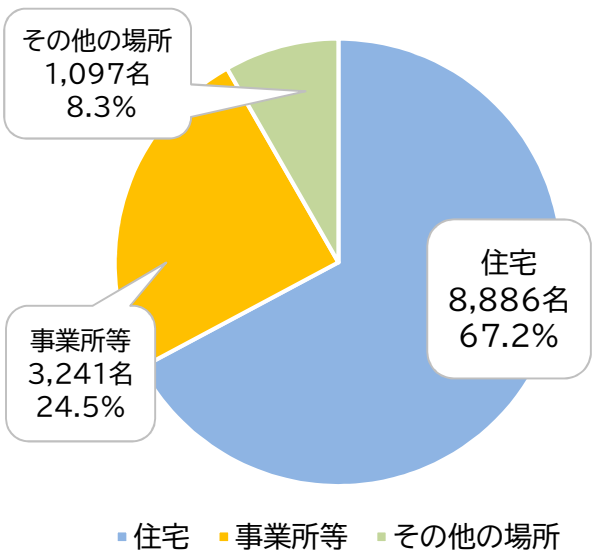
傷病者の救命効果を高めるためには、バイスタンダー(そばに居合わせた人)による応急手当がとても大切です。特に心停止の傷病者に対しては、早い発見と通報、心肺蘇生とAEDによる除細動(電気ショック)が重要になりますので、東京消防庁では都内在住、在勤、在学の方々に対して、応急手当講習を推進し、多くの皆様に受講していただいています。

令和7年中の「市民目撃のある心停止傷病者に対して行われた応急手当の状況」は、事業所(会社や不特定多数の方が集まる場所)での応急手当実施率が 75.7%となり、多くの方による救護の手が差し伸べられています。しかしながら、全体では 56.8%で応急手当が行われている中、発生割合の高い住宅での応急手当実施率は 48.1%にとどまっているため、更なる応急手当の普及が必要です。

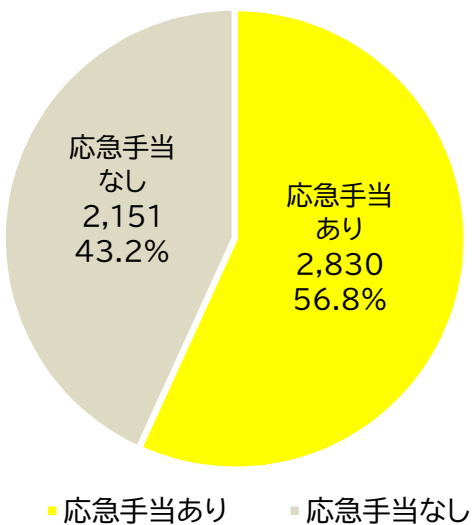
心停止傷病者発生場所別の応急手当実施状況等(令和7年中)

| 発生場所   | 搬送人員    | 心停止<br>市民目撃あり | 応急手当あり<br>(胸骨圧迫・人工呼吸・除細動) |            |
|--------|---------|---------------|---------------------------|------------|
|        | a       | b             | c                         | 実施率<br>c/b |
| 住宅     | 8,886人  | 2,863人        | 1,377人                    | 48.1%      |
| 事業所等   | 3,241人  | 1,543人        | 1,168人                    | 75.7%      |
| その他の場所 | 1,097人  | 575人          | 285人                      | 49.6%      |
| 総計     | 13,224人 | 4,981人        | 2,830人                    | 56.8%      |

心停止発生場所割合



バイスタンダーによる応急手当実施状況  
(市民目撃あり)



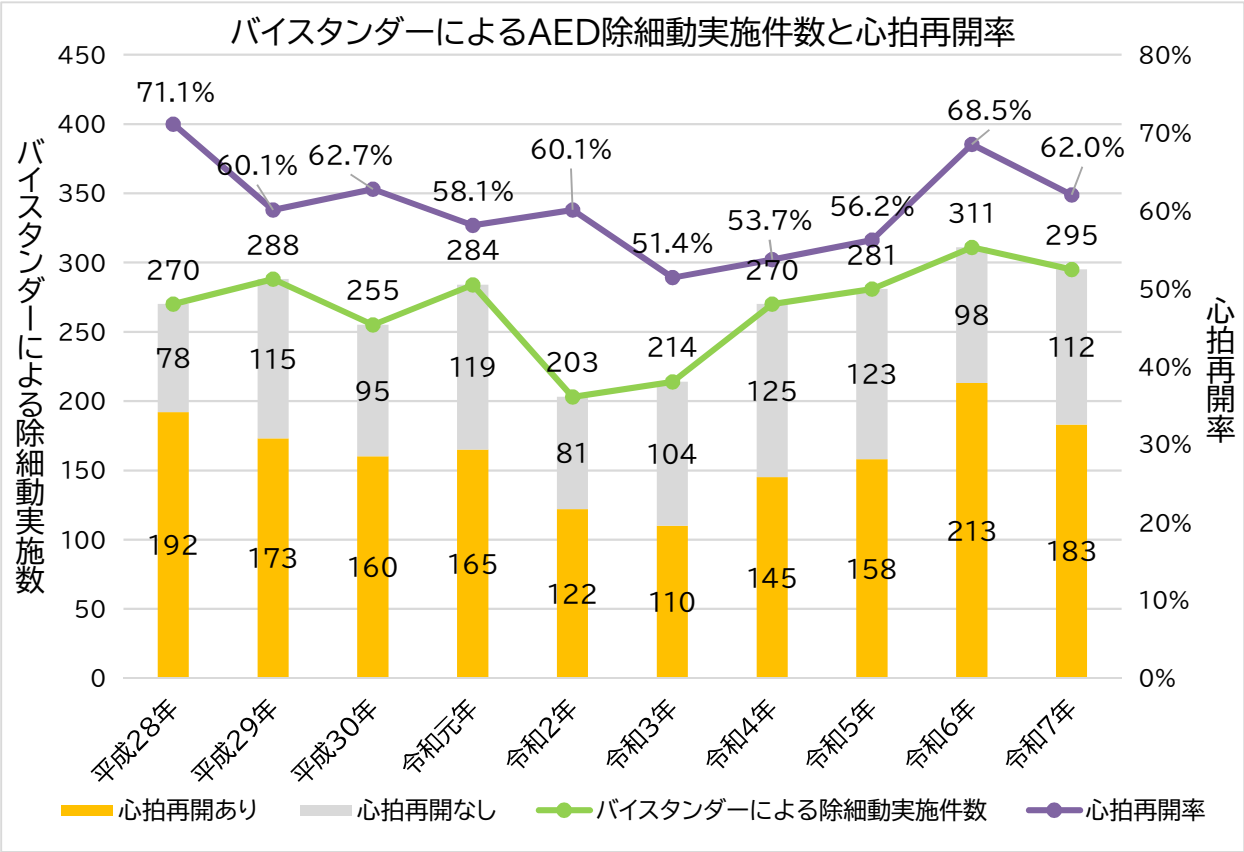
心停止の市民目撃があった傷病者に対する応急手当(胸骨圧迫・人工呼吸・AED)の実施状況のなかで、バイスタンダーによる応急手当が行われていたのは 2,830人でした。このうち、救急隊が医療機関に傷病者を収容するまでに心拍が再開した傷病者は726人(25.7%)で、1か月生存者数の419人(14.8%)と同様、応急手当なしの場合と大きな差があります。(下表)

心停止の市民目撃のあった傷病者に対する応急手当実施状況等(令和7年中)  
(病院収容前心拍再開・1 か月生存状況)

| 市民目撃あり | 搬送人員    | 心拍再開数  | 心拍再開率 | 1 か月生存数 | 1 か月生存率 |
|--------|---------|--------|-------|---------|---------|
| 応急手当あり | 2,830 人 | 726人   | 25.7% | 419人    | 14.8%   |
| 応急手当なし | 2,151 人 | 301人   | 14.0% | 100人    | 4.6%    |
| 合計     | 4,981人  | 1,027人 | 20.6% | 519人    | 10.4%   |

令和7年中にバイスタンダーがAEDを使用し、除細動(電気ショック)を実施した人数は295人で、そのうち183人(62.0%)が医療機関収容前に心拍の再開が認められました。(下図)

目撃のある傷病者に対するバイスタンダーによるAEDの救命効果(令和7年中)



東京消防庁では、業務委託している公益財団法人東京防災救急協会と連携し、各種応急手当講習を推進しています。

受講される都内在住、在勤、在学のみなさまの利便性を高めるため、東京消防庁ホームページに開設している電子学習室での事前学習による短縮救命講習をはじめ、さまざまな講習等を開催しています。

救命講習のお申込みは、公益財団法人東京防災救急協会のホームページや講習受付専用電話、またはお近くの消防署までお問合せください。

救急車 適切利用で 救える命

令和8年度 東京消防庁救急本部 作者：堀 利清さん（台東区在住）

# あなたの一歩が 命を救う



救命講習のお申込み

ホームページまたは、  
お電話で申し込めます！

東京防災救急協会

検索

<https://www.tokyo-bousai.or.jp>  
(インターネットによる講習のお申込みは24時間対応しております)



救命講習受付専用電話番号

**03-5276-0995**

(土日祝日を除く平日午前9時～午後4時)



場所を選ばず、自分のペースで学べる！

オンライン

短縮救命講習

事前にオンライン学習(電子学習)をすることで会場での講習時間が短縮されます。  
※詳細は東京消防庁「防災救急本部」のホームページをご覧ください。



公益財団法人 東京防災救急協会  
Tokyo Disaster Prevention & Emergency Medical Service Association

〒102-0083 東京都千代田区麹町一丁目12番 電話03-5216-9995

東京消防庁

東京消防

検索

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>



リサイクルマーク  
このマークは、環境にやさしい  
リサイクルマークです。

## 資料6

### 応急手当のアドバイス（口頭指導）

救命効果の向上を図るため、通報者に対する応急手当のアドバイス（口頭指導）を行っています。

#### 1 通話によるアドバイス

119番通報後、救急隊が到着するまでの間に、災害救急情報センターの管制員や現場に向かう救急隊員が、通話により傷病者の状況等を確認しますので、その場の状況に応じた応急手当のアドバイスを受けることができます。

#### 2 映像によるアドバイス「Live119」

災害救急情報センターの管制員は、通話によるアドバイスだけでなく、映像通報システム「Live119」を活用して、映像によるアドバイスも行っています。

これは、スマートフォン等からの通報時に、電話を繋いだまま、現場の状況を映像で共有できるシステムです。まず、東京消防庁からURL付きのショートメールを送信します。次に、このメールを開き、メッセージに従ってアクセスしていくと、その場の映像を東京消防庁と共有することができます。また、東京消防庁から応急手当のやり方の動画を送信することもできます。

映像を共有することで、とっさの状況でも言葉を使わず簡単に、今の状況を具体的に伝えることができます。さらに、その場の状況に応じた的確なアドバイスを受けることができます。

一緒に救急車が来るまでの時間に応急手当を行い、尊い命を救いましょう。



※Live119の接続に伴う通信費用は、通報者負担となります。

※映像撮影の際の、肖像権や安全には十分配慮してください。